

横手で県高校工業クラブ発表会

8校、課題研究の視点光る

最優秀賞に秋田工チーム

県立高校の工業系学科で学ぶ3年生の課題研究発表会が横手市の横手清陵学院高校で開かれ、8校の代表チームが研究成果を発表した。

工業系学科がある高校でつくる県高校工業クラブ主催で10回目。横手清陵のほか湯沢翔北、秋田工、男鹿工、由利工、大曲工、能代科技、小坂

が出席。持ち時間18分で発表



8校の生徒が研究成果を披露した発表会

し、大学教員らが審査した。

最優秀賞には秋田工チームの研究「チヨーク再生プロジエクト」が輝いた。メンバーは機械科で学ぶ阿部成翔さん、鎌田妃陽里さん、佐藤汐璃さん、高橋結愛さんの4人。

持続可能な開発目標（SDGs）の関連テーマとして、黒板のレールにたまるチヨークの粉に着目し、チヨークへ再生する実験に挑戦した。粉と水の比率を変えて使いやすさを試し、最適な比率を導いた。レールから粉を回収する装置も製作。スムーズに作動するよう工夫を凝らした。

優秀賞には、授業の実習で排出・廃棄される鉄粉を肥料に再利用する方法を考えたい由利工、こま回しの大会で勝てるよう先端角度や材質を変えて「強いこま」作りに取り組んだ横手清陵が選ばれた。

発表会は6日に行われた。

（菅原潤）